

# 学術映像の基礎 – みる・つくる 基礎編・中級編

## 趣旨 – 映像は学術研究におけるもうひとつの言語です

学術研究における映像の活用は、研究対象の把握をより具体的にし、新たな観点から研究を見直すことにつながります。また、研究を促進させてくれるだけでなく、最先端の研究成果を世界に示すうえでも重要な役割をもちます。本講座の目的は（１）映像のリテラシー（映像を批判的に読み解き、使いこなすことのできる総合的な能力）を習得し、それをもとに（２）映像の制作を自身の研究のなかに位置づけ、学術映像を完成させる能力を獲得することにあります。「みる」と「つくる」、この二つのリテラシーを体系的に習得し、学術研究に値する映像を制作していくなかでそれを実現します。

## 1. 基礎編 概要

**開催日時：**講義と実習 平成23年7月25日（月）～7月29日（金）

成果の講評 平成24年1月26日（木）～1月28日（土）※予定

**実施場所：**総合研究大学院大学 葉山キャンパス

### ■講義と実習

- ビデオカメラの扱い方、研究の目的に応じた撮影の手法。
- パソコンと映像編集ソフト（Mac/Final Cut）の扱い方、研究の目的に応じた編集の手法。
- 映像制作プロポーザル、覚書（同意書）など、各種書類の作成方法と手続き。
- 受講生みずから葉山キャンパスにて撮影と編集を体験するなか、短編の学術映像を制作。
- 学術映像制作における研究者倫理・制作者倫理の考え方。
- さまざまな時代に各国において制作されてきた優れた学術映像の視聴とディスカッション。
- 自然科学、文化科学における、学術映像を活用した研究の事例紹介。
- 学術映像とその基礎をなす諸分野との関係について（サイエンス・コミュニケーション、科学技術社会論、アーカイブス学、現代思想、映画芸術学、映像人類学など）

### ■成果の講評

- 講義と実習での経験をもとに、受講生は所属する基盤機関において自分の研究を映像化を試みる。
- 受講生が制作した映像作品をもちより、上映と講評を行う。

## 2. 中級編 概要

**開催期間：**映像の制作 平成23年8月 1日（月）～平成24年1月25日（水）

成果の講評 平成24年1月26日（木）～1月28日（土）※予定

**実施場所：**総合研究大学院大学 葉山キャンパス、および、受講生の所属する基盤機関

### ■映像の制作

- ・受講生は所属する基盤機関にて自分の研究テーマに関する映像作品を期間を通して制作する。
- ・適時、受講生は葉山を訪問して指導を受け（学生移動経費を支給します）、また、講師が基盤機関を訪問して個別指導することにより、作品の完成を目指す。

### ■成果の講評

- ・映像作品の上映と講評は基礎編と共に開催する。

## 活用 – このようなことができます

- ・ **新たな知の発見**：映像は、文字では扱うことが困難な微細な事象、複雑な現実を捉え、分析、提示することができます。また、文章化した自分の研究を映像化することにより、新しい視点から研究を捉え直すことができます。それはときに新たな発見につながります。
- ・ **研究者の説明責任**：映像を通して、研究をより多くの人に、より多くの場で公表することができます。また、研究を進めていくなかで、その各プロセスを適切な方法で映像記録として残すことは、研究のアーカイブスの観点からも重要です。
- ・ **学術論文と並ぶ、もうひとつの研究ツールの習得**：学術映像の制作は、すでに幾つかの研究分野、学会では学術論文と同等の研究業績として認められています。
- ・ **基礎能力として**：映像のリテラシー（みる・つくる）は、学術研究において役立つだけでなく、映像が大きな意味を担う現代社会をより豊かに生きるための基礎能力として重要です。

## 講師

- 村尾静二（総合研究大学院大学、学融合推進センター）代表責任者 ※総研大修士生  
倉田智子（総合研究大学院大学、国立基礎生物学研究所）※総研大修士生  
縣 秀彦（総合研究大学院大学、国立天文台）※予定  
平田光司（総合研究大学院大学）  
大森康宏（立命館大学、総合研究大学院大学・国立民族学博物館 名誉教授）  
内田順子（総合研究大学院大学、国立歴史民俗博物館）※総研大修士生 ※予定

## 参加のご案内

**基礎編**：本学の学生 5 名～8 名。映像制作の経験をもたない初心者。

**中級編**：本学の学生 3 名程度。映像制作の基礎知識と経験を有する者。

※学外の方も参加できます。ただし、定員に達した場合には本学の学生を優先します。

**使用言語**：日本語

**単位認定について**：

基礎編に関しては、平成 23 年 7 月、平成 24 年 1 月（予定）の全日程に出席し、所定の水準を満たした学生には「総研大レクチャー『学術映像の基礎－みる・つくる』」（2 単位）が認定されます。

中級編に関しては、期間を通して映像作品を制作し、所定の水準を満たした学生には、「総研大レクチャー『学術映像の基礎－みる・つくる』」（2単位）が認定されます。

なお、学外の学生についても本学が認めたものに限り、特別聴講学生としてレクチャーに参加することができます。この場合、検定料・入学料・授業料は徴収されません。また、このレクチャーにより取得した単位の所属大学における扱いは、各参加者において所属大学にお問い合わせください。

#### 参加費用等：

レクチャー期間中の宿泊を希望され、申込書により事前に申し込みいただいた方は、葉山キャンパス内の宿泊施設をご利用いただけます。ただし、宿泊施設の空き状況によっては、宿泊いただけない場合もございますので、ご了承ください。また、本学学生には、後日、学生移動経費による支援として、交通費及び宿泊費の一部（所定額）が大学より支給されます。

#### 申し込み方法：

参加希望者は、平成23年7月11日（月）までに参加申込書、口座振込依頼書（本学学生のみ）を学務課教務係あてにご提出ください。

#### 申し込みにあたっての留意事項

レクチャーで使用する機材（ビデオカメラと映像編集用パソコン）は葉山キャンパスで準備します。参加される方にはレクチャー担当教員より別途、現地までの交通、持参するものなど詳細なご案内をメールにてお知らせします。

申し込みに際していただいた個人情報は、このレクチャー実施に必要な事項に限って使用します。

#### お申し込み・お問い合わせ

（プログラムに関すること）

総合研究大学院大学、学融合推進センター助教 村尾静二

Email：[murao\\_seiji@soken.ac.jp](mailto:murao_seiji@soken.ac.jp)

（申し込み・単位に関すること）

〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総合研究大学院大学学務課教務係

Email：[kyomu@ml.soken.ac.jp](mailto:kyomu@ml.soken.ac.jp)

Tel：046-858-1523